

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 6月10日現在

機関番号：72622

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22520727

研究課題名（和文） 内陸アジア出土4～12世紀の漢語・胡語文献の整理と研究

研究課題名（英文） Researches on the 4th-12th century Chinese and non-Chinese documents unearthed in Inner Asia.

研究代表者

土肥 義和 (DOHI YOSHIKAZU)

財団法人東洋文庫・研究部・研究員

研究者番号：10104746

研究成果の概要（和文）：標記研究課題に対する研究成果は、次の（1）～（4）の通りである。

（1）ロシア科学アカデミー東洋学研究所サンクト・ペテルブルグ分所所蔵の胡語文献の裏面に書かれた漢語文献の目録原稿を作成し、そのうちの非仏教文献の録文を公表した。（2）旅順博物館所蔵の『唐律』『律疏』断片のカラー写真を学界に提供し、既発表論文のいくつかの論点をより正確にした。また、旅順博物館所蔵吐魯番出土の唐代の田制等社会経済文書と墓葬再利用文書の文献・彩画両面資料とを実見し、それらと龍谷大学所蔵の大谷文書等との綴合を示した。さらに、綴合によって復原された唐代の官文書の史料的位置づけを行った。（3）敦煌仏教との比較資料として、開封市の繁塔に見える北宋初期の仏教石刻資料を増補し、その全体像を提示した。（4）胡語文献の研究と関わって洛陽のソグド人「安善夫妻」の墓と墓誌を調査し、その成果を公表した。

研究成果の概要（英文）：Summary of Research Findings

1. Work continued on drafting a catalog of Chinese documents appearing on the versos of Sogdian language documents preserved in the archives of the Russian Science Academy's St. Petersburg Institute of Oriental Studies, and the non-Buddhist records in that collection were published.

2. Release to the scholarly community of photographs showing fragments of the Tanglü (唐律, Tang Dynasty Penal Code) and Lüshu (律疏, Commentaries on the Tanglü) preserved in the Lushun Museum, China, and refining of several related controversial points in the existing research literature.

Also at the Lushun Museum, the team inspected fragments of documents related to the Tang Period arable land system, the backs of which were used for pictorial burial paraphernalia and later excavated in Turfan, enabling these fragments to be pieced together with fragments preserved in such archives as the Ryukoku University Otani Collection, thus placing them within the historiographical context of reconstructed Tang Period official documents.

3. Supplementation of early Northern Song Period Buddhist stone inscriptions found at Pota 繁塔 in Kaifeng, Henan Province, China, as comparative sources to the historiography of Dunhuang Buddhism, enabling a more comprehensive image of Buddhism during that period.

4. Survey of the replicated gravesite for the Sogdian Anpu 安善 and his wife and his epitaph found in Luoyang, Henan Province, China and the publication of a report on its findings related to Sogdian language documents.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,900,000	570,000	2,470,000

2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：敦煌 吐魯番 漢語文献 胡語文献 出土資料 石刻 ソグド

1. 研究開始当初の背景

平成15年(2002)に東洋文庫が他国に先がけてロシア科学アカデミー東洋学研究所サンクト・ペテルブルグ分所から入手した内陸アジア出土文書のMicrofilm(全363リール、約25万駒)には4・5世紀から15世紀に及ぶコータン・サカ語、西夏語、ウイグル・ソグド語、漢語、チャガダイ・トルコ語等11言語の文書が含まれている。Microfilm化された文字資料の目録を公開することは、我が国だけでなく、諸外国の研究機関や研究者の希求するものがある。漢語文献については目録を作成したが、そのほかの言語については、未整理のものがある。

2. 研究の目的

本研究は「内陸アジア出土4～12世紀の漢語・胡語文献の整理と研究」と題して3年間の計画で遂行するものである。旧来、中国の正史に代表される編纂史料を中心に進められてきた内陸アジア諸地域(敦煌やトルファン、ホータン、チベットなど)の諸民族の歴史に対して、本研究は、現地で各時代に作成された漢語文献・胡語文献(非漢語諸民族文献)を用いて、とくに内陸アジア諸民族の文化や社会の諸相について新考察を加えることを目的とするものである。

3. 研究の方法

(1) 研究代表者と分担者の3名は、東洋文庫がロシア科学アカデミー東方学研究所サンクトペテルブルク分所から1990年代に入手した内陸アジア出土文書microfilm 363リール中の、古ウイグル・ソグド語文書microfilm 30リールに含まれている胡語・漢語文書を抽出し、その文書の「文書番号・齣数対照目録」を作成する。

(2) 北京の諸機関における調査では、代表者土肥による中国国家図書館他の敦煌・吐魯番文書中の、関係する胡語・漢語文書の実見から、その特色と傾向を総括する。分担者岡野は、旅順博物館・中国国家図書館・北京大学図書館における法制文書と関係史料の実

見成果をまとめ総括する。旅順博物館における調査では、分担者片山は、連年の調査報告をさらにまとめ総括する。

(3) 河南省における調査に関連して、代表者土肥は連年の寺院関係石刻資料の確認や追跡の結果として、開封と鄭州・登封など地域ごとに成果をまとめる。分担者岡野は、洛陽と龍門の関係石刻資料等の調査成果をまとめる。

4. 研究成果

(1) 東洋文庫がロシア科学アカデミーから入手した内陸アジア出土文書マイクロフィルム363リール中の、古ウイグル・ソグド語文書マイクロフィルム30リールに含まれる胡語・漢語文書を抽出し、「文書番号・齣数対照目録」のデータベース化の方針を決めて作業を行い、胡語文献の裏面に書写された漢語文献の内容目録の草稿を作成した。なお、そのうちの非仏教関係文書については、録文集を作成するとともに、それぞれの史料を評価する段階に入った。

(2) 関連する漢語・胡語資料の所蔵機関の調査については、分担者の岡野が、旅順博物館所蔵の『唐律』『律疏』断片のカラー写真を学界に提供し、既発表論文のいくつかの論点をより正確にした。分担者片山は、研究協力者とともに、旅順博物館と龍谷大学とに分蔵される文書断片の綴合案を提示した。その中には発見当初の靈芝雲の外貌復元が含まれる。その復元の成果をふまえて、代表者の土肥が、靈芝雲型官府文書について考察した結果を公表した。

(3) 代表者土肥は、敦煌仏教文化との比較や供養人題記を分析するため、同行の分担者・補助者、日中の協力者らとともに、河南省開封市の繁塔に見える北宋初期の仏教石刻資料調査を完了した。そして、比較研究の対象として鄭州開元寺の石棺銘を調査し、その成果を資料集補遺のかたちで提示した。また、分担者岡野は洛陽においてソグド系の「安菩夫妻」の墓と墓誌を調査し、その成果を公表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 16 件)

①土肥義和、旅順博物館蔵靈芝雲型唐代官府文書断簡(1412-1、1411-2)について、内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 23・24 年度分冊)(土肥義和研究代表)、査読無し、2013 年 3 月、3-5

②土肥義和主編、速水大整理、宋代繁塔石刻資料集(稿)補遺 2、内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 23・24 年度分冊)(土肥義和研究代表)、査読無し、2013 年 3 月、21-26

③岡野誠「唐の「安善夫妻墓誌」と安金藏」『内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究』(平成 23・24 年度分冊別冊)、(土肥義和研究代表)、査読無し、2013 年 3 月、3-28

④岡野誠、〔書評〕石岡浩・川村康・七野敏光・中村正人著『史料からみる中国法史』、法史学研究会会報、第 17 号、2013 年 3 月(予定)

⑤岡野誠、〔書評〕佐立治人「あぶくの告発——前夫を殺した後夫を妻が訴えた話——」(『関西大学法学論集』第 61 巻第 2 号)、法制史研究、第 62 号、2013 年 3 月(予定)

⑥片山章雄、振芬、張銘心、旅順博物館所蔵文書と大谷文書における形状と綴合(2011 年度)、内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 23・24 年度分冊)(土肥義和研究代表)、査読無し、2013 年 3 月、7-13、14A、14B

⑦岡野誠、〔書評〕陶安あんど「唐律共犯概念再考——大陸法的な理解から英米法的な理解へと視点をかえて——」、法制史研究、第 61 号、2012 年 3 月、286-290

⑧土肥義和主編、速水大整理 宋代繁塔石刻資料集(稿)補遺 内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 22 年度分冊)(土肥義和研究代表)、査読無し、2011 年 3 月、24-31

⑨岡野誠、旅順博物館・中国国家図書館における『唐律』『律疏』断片の原卷調査、内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 22 年度分冊)(土肥義和研究代

表)、査読無し、2011 年 3 月、3-12

⑩岡野誠、唐宋史料に見る「法」と「医」の接点、杏雨、査読あり、第 14 号、2011 年 6 月、130-166

⑪岡野誠、〔書評〕辻正博著『唐宋時代刑罰制度の研究』、東洋史研究、第 70 巻第 2 号、2011 年 9 月、140-147

⑫岡野誠、楊永良訳、〔書評〕大津透編『日唐律令比較研究の新段階』(原載『唐代史研究』12)『日本中国史研究年刊(2009 年度)』上海古籍出版社、2011 年 12 月、264-278

⑬片山章雄、王振芬、張銘心、旅順博物館所蔵文書と大谷文書その他文書の綴合(2010 年度)、内陸アジア出土 4~12 世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成 22 年度分冊)(土肥義和研究代表)、査読無し、2011 年 3 月、13-18

⑭片山章雄、世界史教科書掲載の靈芝雲型吐魯番文書の深層、東海大学紀要 文学部、査読あり、第 95 輯、2011 年 9 月、縦組 1-19

⑮岡野誠著、李力訳、關於天聖令所依拋唐令的年代、中国古代法律文献研究、査読無し、第 4 輯、2010 年、116-139

⑯片山章雄、大谷探検隊吐魯番将来《玄武關係文書》続考、西北出土文献研究、査読あり、第 8 号、2010 年、83-94

[学会発表] (計 12 件)

①土肥義和、“The Dynamism Inherent in Han Chinese Personal Names as Shown in Index of Chinese Surnames Appearing in the Dunhuang Chinese Documents Dating from the Late 8th to the Early 11th Century” Central Asia Studies and Inter-Asia Research Networks: Integrated Study of Dynamism in the Central Asian Regional Sphere 2013 年 3 月 2 日、東洋文庫

②片山章雄、近年扱った文書と漢籍二題——大谷文書の四神と突厥が現れる漢籍——、漢籍研究会新年大会講演、2013 年 1 月 12 日、日中友好会館

③土肥義和、仏典・文書関係テキストについて、東洋文庫アジア資料学研究シリーズ 2012 年度東洋のコディロジー (Codicology) ——文理融合型東洋写本・版本学(講習会)——「漢字文献」、2012 年 9 月 1 日、東洋文庫

④岡野誠、敦煌文献と法史学——李盛鐸旧蔵

敦煌文献を中心に——、法制史学会、2012年6月16日、金沢大学

⑤片山章雄、大谷探検隊吐魯番将来《青龍》文書と残余で作る靈芝雲文書、内陸アジア出土古文献研究会、2012年3月19日、東洋文庫

⑥土肥義和、旅順博物館所蔵の敦煌出土文書若干について、内陸アジア出土古文献研究会、2011年10月15日、東洋文庫

⑦岡野誠、近年の敦煌・吐魯番本『唐律』『律疏』断片の調査・研究、法史学研究会第146回例会、2011年6月15日、明治大学

⑧片山章雄、大谷文書中の3種9層の靈芝雲の問題、東洋文庫内陸アジア出土古文献研究会、2011年3月12日、東洋文庫

⑨片山章雄、旅順博物館所蔵の靈芝雲彩画・文書をめぐる二三問題、内陸アジア出土古文献研究会、2011年10月15日、東洋文庫

⑩岡野誠、唐宋史料に見る「法」と「医」の接点、杏雨書屋第25回研究講演会、2010年4月24日、リーガロイヤルホテル大阪

⑪岡野誠、敦煌文献と法史学、法と文化研究会第2回、2010年12月16日、明治大学

⑫片山章雄、大谷文書と敦煌秘笈中の物価文書の綴合について、内陸アジア出土古文献研究会、2010年11月20日、文京区勤労福祉会館

〔図書〕(計3件)

①土肥義和研究代表：“内陸アジア出土4～12世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成23・24年度分冊)” 東洋文庫(平成22～24年度科学研究費補助金研究成果報告書) ii + 34頁、2013年3月

②土肥義和研究代表：“内陸アジア出土4～12世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成23・24年度分冊 別冊)” 東洋文庫(平成22～24年度科学研究費補助金研究成果報告書)、ii + 28頁、2013年3月

③土肥義和研究代表：“内陸アジア出土4～12世紀の漢語・胡語文献の整理と研究(平成22年度分冊)” 東洋文庫(平成22～24年度科学研究費補助金研究成果報告書)、ii + 35頁、2011年3月

6. 研究組織

(1) 研究代表者

土肥 義和 (DOHI YOSHIKAZU)
財団法人東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：10104746

(2) 研究分担者

岡野 誠 (OKANO MAKOTO)
財団法人東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：50110979

片山 章雄 (KATAYAMA AKIO)
財団法人東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：10224453

(3) 連携研究者

()

研究者番号：